

～令和5年度コロナ禍における地域活動支援事業～

どうする？地域社会の在り方 と地域の担い手

日時

11月23日（木・祝）13:30～15:15

場所

瑞穂区役所 さくらルーム（2階）

内容

①講演会 13:30～14:15

「コロナ後の地域社会の在り方と
担い手不足解消に向けて」

講師 中日新聞記者 鈴木 龍司氏



北区の団地の町内会長をお務めで、中日新聞市民版に、「町内会長日記 コロナ時代の共助」を連載中。様々な地域活動取材されているご経験から、今後の地域活動の在り方とその担い手不足解消の方法についてご講演いただきます。



②グループトーク 14:30～15:15

参加者の皆さん自身の学区の現状や、今後の活動等について話し、地域活動の担い手確保に向けた解決策を世代を超えて意見交換します。

参加
申込

各学区3名程度のご参加をお願いします。
ご希望の方は各学区の区政協力委員長さんへお申し出ください。
次世代の地域活動を担う若手の方も是非ご参加ください！

<問い合わせ先> 瑞穂区役所地域力推進室
TEL 852-9302 FAX 852-9306